



# よこと館だより



Est.1912

発行：至誠学舎立川 編集：法人事務局

## 理事長閑話 うめ草⑦

### ～結愛ちゃんの遺書～

世の中、社会にはとんでもない事が起こる。しかしこれは辛すぎる。虐待を受けて殺された5歳の船戸結愛ちゃんのノートを読み上げる鬼の警視庁捜査1課長も言葉を詰まらせたという。わたしもあの報道を聞いたとき、記事を読んだとき、あまりの無残さに鼻の奥に電気が走り、涙が止まらなかった。健気で聡明な5歳児の懸命に生きることが訴える文章に胸震え、その子を虐待した両親に「鬼」をみた。そして今の日本社会の病理性を想い、その構成員である私の在り様にまで漠とした不安感が拡がる。彼女の遺書だと思う。

以下に6月9日付けの朝日新聞の社説を紹介します。



懸命に生きていた幼い命を、救う機会は無かったのか。船戸結愛ちゃん5歳がノートに書き残した内容が、社会に大きな衝撃を与えている。親に言いつけられた事をできなかつた「反省」と「謝罪」が、ひらがなで綴られていた。食事を満足にさせてもらえず3月になくなった。(中略)香川県で父親の暴力を理由に2回、児相の一時保護を受けた。この時点で児童養護施設などに入所させて親と距離を置く判断は出来なかつたか、(中略)

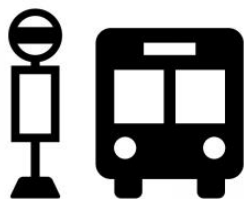
「ほんとうにもうおなじことはしません」結愛ちゃんはノートにそう綴っていた。謝るべきは大人社会のほうだ。失われた命に再発の防止を誓い、虐待されているすべての子を救い出さなければならぬ。

(朝日新聞社説から)

謝るべきは大人と社会であるとの指摘、まさにそこだと思う。ではどうするか、私達の毎日の生活と仕事への取り組みにその「解」を探さねばならない。

理事長 橋本正明

## 事業本部長メッセージ



もうずいぶん前の梅雨の時期、夕方のことでした。バス停でバスを待っていたら雨粒が落ちてきました。自分は折り畳み傘を開きましたが、隣で一緒に待っていたリクルートスーツ姿の若い女性は傘を持っていない様子。少し躊躇したものの「よかったらどうぞ」と開いた傘をさしかけました。話をすると、近くの高校で教育実習中の学生とのこと。車内では席も別になりバスは終点の国立駅に。バスを降りると先に降りていた彼女が私を待っていて「あの、なんにもお礼するものがないので・・・ありがとうございました」とキャンディーを一つ手渡されたのです。

梅雨寒になると思い出す、心に灯がともるような思い出です。

高齢事業本部長 旭 博之

## 事業本部情報

### ♥ 児 童 事 業 本 部 ♥



いよいよ7月、子どもたちにとって待望の夏休みが目前に迫ります。例年、夏休みが始まるとすぐに東京都児童福祉施設競技大会が開催されます。その大会への出場、そして、もちろん、優勝を目指していよいよ練習にも熱が入ってきた今日この頃です。今年小学生を対象とした「ドッチボール」、小学生、中学生を対象とした「野球」の二つの競技に、「至誠学園」、「至誠大地の家」、「至誠大空の家」の合同チームで参加します。

毎週、日曜日の午後、汗と泥にまみれて真剣に白球を追う子どもたちを見てみると、時間の経つのを忘れてしまいます。小学生中心の野球部ではありませんが、少しずつそれなりの形になってきました。少し前までキャッチボールもおぼつかなかった子どもが、監督のノックするボールに果敢に向かってくるのです。ようやくキャッチできた時の驚きの顔とちょっと誇らしげな表情に、「ナイスキャッチ!」の声援が重なります。成長著しい選手たち、試合まで残り1ヶ月、どんなチームに仕上がるかとても楽しみです。

試合の日には、ぜひ皆さん応援にいらしてください。7月30日、午前9時50分プレーボール。場所は三鷹市大沢総合グラウンドです。久しぶりに新調したユニフォームをまとい、子どもたちの熱い夏がもうすぐ始まります。

(至誠学園 施設長 石田芳朗)

### ♥ 保 育 事 業 本 部 ♥

「しせい太陽の子保育園」は平成18年待機児解消に向けて「至誠第二保育園」、「万願寺保育園」の次に中央線日野駅近くの市有地で駐輪場のあったところを開園しました。定員は53名から始まりその後60名に。駅の近くで園舎は鉄筋4階建てで園庭はないですが屋上はあり、そこにはカラフルな大型ブロックの遊具を置いて子ども達が楽しく過ごせる空間を用意していました。今は年数がたち鉄棒を設置して活用しています。

開設当時より朝の通勤時間帯、玄関前に立ち通行する方々に「おはようございます」と挨拶をしています。当初は登園時車で来る保護者と近隣の通学する子どもとの時間帯が同じで危ない、との苦情があり始めました。しかし13年目ともなると今では通行する方から挨拶をして下さり、年配の方から職員にお褒めの言葉を掛けて下さったり、顔見知りになったりと地域に根差していく一つのつながりになっています。

6月の梅雨の晴れ間に運動会を行う事が出来ました。入園・進級2ヶ月目でもしっかりと0歳児～年長児まで競技や体操の発表をし、お子様たちの姿を見て保護者やご家族が喜び感動して下さいました。太陽のようにキラキラ笑顔いっぱいのしせい太陽の子保育園です。

(しせい太陽の子保育園 園長 廣瀬優子)

### ♥ 高 齢 事 業 本 部 至 誠 ホ ー ム ♥

至誠ホーム調布若葉ケアセンターは開設6年、調布柴崎ケアセンターは5年を迎えました。本部のある立川錦町キャンパスからは一番遠い拠点となります。両センターとも在宅サービスで通所介護、居宅支援事業等を行っています。おかげ様で着実に地域に根ざしてきており、「明るく親切、役立つ事業所」をコンセプトに頑張っています。

職員数は両センター合わせて総勢75名。そのほとんどが契約職員で地元の方々ですが、頼もしい限りです。特に柴崎通所においては、昨年度「赤門プロジェクト」を立ち上げ、単月黒字化を目指してきました。その結果、職員さん方の努力で見事に現在までその目標を達成し続けています。

それにより職場もより活気づきました。それぞれの職場にとって職員一人一人が大切な存在です。今まで以上に至誠ホームで働いて良かった、続けていきたいと思えるように、離職者ゼロを目標にして、一同張り切って仕事にとり組んでいます。

(至誠ホーム調布若葉・柴崎ケアセンター センター長 井上富士子)

## 本部事務局だより

内部統制と内部管理体制、これもよく混同されて使われる代表格ですが新社会福祉法で求められているものとしては全く別物です。まず、内部統制の「統制」の意味ですが、これは「目的達成のための部下の行動を合理性・効率性の観点から監督する」という極めて実務的なことです。したがって内部統制とは、財務報告（財務諸表）の信頼性を確保するために、内部統制3点セット（①フローチャート、②業務記述書、③リスクコントロールマトリックス（RCM））を使って部下の事務手続きを見張ることです。監査ではこの3点セットを実際にテストすることで、不正な会計処理や粉飾決算が行われていないかを点検するわけです。

一方、内部管理体制は、事務手続きの正しさではなく、もっと幅広く経営全体に係る体制・組織の在り方が問題となります。つまり、法人の評議員会・理事会・経営会議等の会議体が法に則り規程という形で構築され、規程に沿って運用され、相互牽制が機能して合理的な経営判断が行われているかが問題となり、監査ではチェックリストに基づいてエビデンス（資料）の提出が求められます。この会議体には、経営に不可欠なリスクを管理する「リスク管理の体制（及び規程）」を構築・運用することも必須です。さらに、役職員がこれらの運用にあたって法人内の諸規程・規則を守って業務を行うコンプライアンス（自ら決めたことは自ら守る）が守られているかを監督するコンプライアンス体制の構築も必須とされています。

新社会福祉法で求められていることの重さを感じる統制と体制です。

(法人事務局 局長 野島忠幸)



<編集後>今年の関東の梅雨は短く、観測史上初の6月梅雨明けとなりました。このままではこの夏、水不足と猛暑に悩まされるのではないかと心配になります。皆さんも体調を崩されませんように…。